

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-133	24-035	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Is alcohol outlet availability associated with binge drinking in Canadian young adults? Findings from British Columbia and Quebec アルコール販売店の有無はカナダの若年成人における過剰飲酒と関連しているか? ブリティッシュ・コロンビア州およびケベック州からの調査結果		
執筆者		
Sersli S, Shareck M.		
掲載誌		
Can J Public Health. 2024 Aug;115(4):567-576. doi: 10.17269/s41997-024-00905-6.		
キーワード	PMID	
飲酒; 若年成人、公衆衛生、アルコール飲料/供給と流通	38918359	
要 旨		
<p><b>背景:</b> アルコール入手可能性はアルコール消費および関連する害と関連しているが、若年成人に多く見られる飲酒パターンである「一時的多量飲酒 (HED)」との関連についてのエビデンスはあまりない。本研究は、カナダの若年成人におけるアルコール入手可能性と HED との関連を評価することを目的とした。</p> <p><b>方法:</b> カナダ国民健康横断的調査 (CCHS, 2015-2019 年サイクル) におけるカナダの都市部に住む若年成人の飲酒者 (18~29 歳) の地域対象集団サンプルを用いた。ブリティッシュ・コロンビア州およびケベック州の CCHS データに、カナダの統計区域内 (N = 1,067,747) における 2 つの指標: 店内外でのアルコール販売場所の密度 (AOD) と空間的アクセスビリティ指標 (SAI) を紐づけた。AOD は、国勢調査都市圏の大規模人口中心地 (DA) に対して、3 つのネットワークバッファー (400 m、800 m、1600 m) を作成し、バッファー内に含まれる各販売店タイプの総数を計算したものである。SAI は、各人口加重 DA 重心から道路ネットワーク上の最も近い 7 つの販売店までの距離を計算し、距離の逆数を合計したものである。この AOD、SAI の 2 つをアルコール入手可能性の指標とし、月間 HED との関連について、共変量を調整した上で、ロジスティック回帰分析を用いて推定した。</p> <p><b>結果:</b> アルコール入手可能性と HED の関連は、州単位、入手可能性の指標により異なっており、ブリティッシュ・コロンビア州では、店外および店内の SAI を用いた入手可能性が HED と逆相関を示した。例えば、入手可能性が中程度である居住地では、入手可能性が低い地域と比較して、HED のオッズ比が有意に低下した (店外 OR = 0.33, 95% CI:0.17-0.64; 店内 OR = 0.49, 95% CI:0.27-0.89)。一方、ケベック州では、SAI を用いた店外の入手可能性と HED が正の関連を示したが統計的には有意ではなく、店内の入手性については明確な傾向が見られなかった。</p> <p><b>結論:</b> 本研究における結果は、先行研究のエビデンスと一致しており、アルコール入手可能性の地理空間的な制限は、利便性を減少させる重要な公衆衛生戦略である。また、地域ごとに異なる入手性と飲酒パターンの理由を解明することで、地域に適した政策の策定に役立つと考えられる。</p>		